徳島市民病院だより

徳島市民病院の理念
「思いやり・信頼・安心」

R04/04
30号

〒770-0812 徳島市北常三島町２丁目34番地 徳島市民病院広報管理室 TEL (088) 622-5121 (代表)

当院における甲状腺の内視鏡手術について

外科 主任医長
小笠原 卓

手術対象となる甲状腺疾患には、良性・悪性腫瘍のほかに難治性・薬剤コントロール不良となったバセドウ病などが挙げられます。甲状腺は気管の前面、甲状軟骨（いわゆるのど仏）の下に鎮座しており、通常は頸部襟状切開：頸部下部に皮膚切開を横方向において甲状腺を露出することとなります。皮膚割線、頸部のしわに沿って切開線をおくことで、頸部の創部でも比較的目立ちにくくなります。また、一方で皮膚切開創を頸部に置かない手術術式として、当院では以前より甲状腺の内視鏡手術を取り入れております。

◆ 甲状腺内視鏡手術の対象は？

甲状腺内視鏡手術の対象疾患も甲状腺良性・悪性腫瘍、バセドウ病などとなり、甲状腺葉切除術、全摘出術を行います。ただ頸部の空間は、腹腔鏡や胸腔鏡手術が行われる腹腔内、胸腔内の空間に比べて非常に狭く、対象疾患の中でも症例を選択することにはなります。腫瘍のサイズが巨大なもの、甲状腺自体の重量が大きいもの、腫瘍の周囲組織への浸潤、伸展が疑われるような場合は、手術時の安全性から対象外としています。

◆ 甲状腺内視鏡手術のメリットは？

通常手術との一番の違いである創部の位置は、当院のアプローチ法では鎖骨下（前胸部）になります。開襟の衣服を着ても目立たない位置であり(図1、2)、整容性の面から非常に有効と考えられ、患者さんの満足度も高いです。術後の経過については、頸部襟状切開での手術と内視鏡手術に特に差異はなく、身体への侵襲度は同じ程度と考えていますので、入院期間が極端に変わることはありません。

以上、簡単ではありますが、甲状腺内視鏡手術のさわりを挙げさせていただきました。当院では甲状腺内視鏡手術については、良性腫瘍、悪性腫瘍ともに保険診療対象となっており、内視鏡外科技術認定医（甲状腺領域）が担当させていただいております。今後とも、よろしくお願いいたします。 (甲状腺外科 小笠原 卓)

図1：右鎖骨下(前胸部)に3cmと5mmの切開創をおきます。

図2：(坐位での術後創部)開襟のシャツに創部瘢痕は隠れるようになります。

ユニフォーム、4月より一新

看護職(部長・次長)

看護職(女性)

看護職(男性)

看護補助者

コメディカル(女性)

コメディカル(男性)

BCコーディネーター

入院支援ナース

退院支援ナース

医療ソーシャルワーカー

当院では5年ごとにユニフォームの見直しを行っており、令和4年度はその節目に当たります。各所属のメンバーから成るWGを設置し協議した結果、4月から画像のように変更されることが決定しました。

医師は現行のユニフォームを踏襲し、看護師やMSWは色やデザインを一新しています。コメディカルは同じカラーで差し色が入る等、若干の変更があります。また、医師のユニフォームを含め、左肩のロゴマークが現在のものより一回り大きくなりました。

皆さんに馴染み深いものとなるよう、職員一同励んで参ります。

（総務管理課　島本 裕子）

看護研究発表会 行われる

看護部では毎年、看護研究発表会を開催しており、今年度は2月18日に6演題の発表を行いました。多忙な業務の中、研究に取り組むのは大変だったと思いますが、この日を迎えることができました。

演題はコロナ禍だからこそというテーマや意思決定支援、患者指導に関してなど、いずれも看護の質向上に繋がるものです。この成果を日常業務に活かしてくれると思っています。演題と研究者は以下のとおりです。

◆混合病棟における看護技術習得の動画視聴の効果
〔7階：谷澤 大介、神原 なおみ、野口 京子、池本 徹郎〕

◆乳がん患者におけるBRCA検査選択の意思決定要因
〔9階：池内 千智、竹内 誠子、谷 景子、佐藤 智子〕

◆人工股関節置換術後の脱臼予防指導のパンフレット改定が看護師の知識・意識にもたらす効果
〔8階：山本 侑奈、矢武 真由美〕

◆COVID-19禍でのNICUにおける愛着形成とパートナーシップに向けた動画視聴の効果
〔NICU：東條 結衣、伊藤 貴代〕

◆COVID-19対応感染症専用病棟の看護職者のストレスとワーク・エンゲイジメントに関連する要因
〔11階：岩井 久代、宮島 八重〕

◆COVID-19禍における救急看護師の仕事意欲に「ありがとうカード」がもたらす効果
〔救急室：高麗 真由美、猪子 美由紀〕

（看護部　谷崎 宏美）

レジナビFairオンライン 徳島県2022

当院は4月16日、「レジナビFairオンライン 徳島県2022 ～臨床研修プログラム～」に出展しました。

レジナビFairとは、全国各地で開催されている日本最大規模の医学生向け臨床研修病院 合同説明会です。当院は例年、大阪開催のレジナビFairに参加していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、昨年度と同じくオンライン説明会への出展となりました。徳島県の基幹型臨床研修病院9病院（徳島市民病院、阿南医療センター、徳島健生病院、徳島県鳴門病院、徳島県立中央病院、徳島県立三好病院、徳島赤十字病院、徳島大学病院、吉野川医療センター）がすべて参加しており、それぞれの魅力や強みを発信しました。

当院からは田村副院長 兼 臨床教育センター長、岡本研修医による臨床研修プログラム概要の説明や市民病院の紹介があり、その後医学生からの質疑応答が行われました。参加したのは徳島大学生をはじめとする全国の医学生80人です。現地でのイベントに比べて、より多くの医学生に当院の臨床研修について伝える場となりました。基本的診療能力の修得や将来のキャリア形成等について慎重に考えている最中の学生たちにとって、得るものの多い時間となった模様です。

今後も当院では、一人でも多くの医学生に初期臨床研修を受けていただけるよう、情報発信活動を積極的に行っていく所存です。　(総務管理課　松谷 健祐)

医学生からの質問を仲介する司会者と、回答する田村副院長と岡本研修医。

特定行為研修を含む認定看護師教育

令和2年度より、特定行為研修が組み込まれた新たな認定看護師教育が開始されています。私は昨年度、手術看護認定看護師教育課程を受講しました。認定看護師資格は10月の審査に合格後の認定ですが、特定看護師資格は研修修了をもって認定されるため、4月からまずは術中麻酔領域の特定行為を実施しています。

研修中はe-learningや実習を通して、麻酔科医がどのような思考で術中の麻酔管理を行っているのかを学ぶことができました。特定行為とは診療の補助の一部であり、医師のタスクシフトとしての役割が注目されがちですが、実際は看護師のスキルアップの部分が大きいと感じています。

特定看護師はまだまだ認知度は低いですが、安定して特定行為を実施するためにはある程度の人数が必要な資格だと考えています。今までよりも医学的な知識や技術を多く持つ看護師が増えることで、患者さんにもよりスピーディーで安全な看護を提供できると思っています。

特定看護師　松井幸恵さん

麻酔科医と協同し安全な手術を目指しながら、特定看護師だけではなく手術室全体でよりよい麻酔看護が実施できることを目標とし、自己研鑽していきたいと思います。

(手術室　松井 幸恵)

集団接種協力

徳島県では、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を迅速に実施するため、2月1日に大規模集団接種会場を5カ所開設しました。当院は県より依頼を受けて継続的に医師を派遣しており、4月現在はアスティとくしま、ショッピングプラザ ルピア等での集団接種に協力しています。

時間経過とともに体内の抗体量は大きく減少することが報告されており、大規模集団接種は5月以降も継続予定です。当院は今後も県下におけるワクチン接種推進のため、自治体や他の医療機関と連携してまいります。

（広報管理室　竹内 明子）

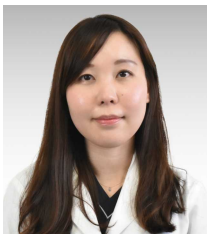
新任医師、臨床研修医ご紹介

徳島市病院局は4月1日付で人事異動を発令しました。当院は医師8名を採用。臨床研修医5名を含め、13名が着任しています。

また、放射線科 生島 葉子診療部長が総括部長に、救急室 宮本 理司室長が総括部長に就任しました。当院は今後も、地域の中核病院としての役割を果たしてまいります。

産婦人科 主任医長
柳原 里江
【専門分野】産婦人科

泌尿器科 主任医長
湊 淳
一般泌尿器科、透析療法



外科 医長
行重 佐和香
乳腺外科、一般外科

耳鼻咽喉科 医員
山下 貴央
【専門分野】耳鼻咽喉科、頭頸部外科

麻酔科 医員
近藤 早紀
麻酔科

内科 専攻医
原田 祥子
呼吸器内科

整形外科 専攻医
阿部 拓馬
整形外科一般

麻酔科 専攻医
塩﨑 友里子
麻酔科

臨床研修医（1年次）
阿部 紗也加

臨床研修医（1年次）
松本 真奈

臨床研修医（1年次）
井上 栞

臨床研修医（1年次）
古谷 光平

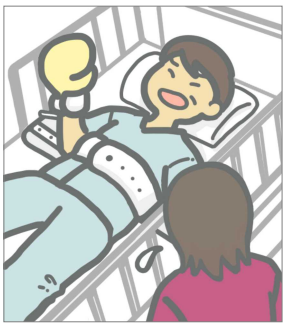
臨床研修医（1年次）
原 将巳

認知症ケア加算取得と患者さんへの理解

認知症とは、認知機能の低下に伴い日常生活における困りごとが増えるという状態です。何が難しくて困っているかは人それぞれですので、私たちは認知症患者さんが何を感じその行動に至ったのかを想像し、ケアにつなげていくことが求められています。急性期病院への入院という環境の中で認知症患者さんが適切な処遇を受けられるように、そういった理由で認知症ケア加算は新設され、当院でも取得しています。

算定要件のひとつとして、身体拘束予防について示されています。実際の患者さんに聞いてみると、「あんなつらい体験は二度としたくない」と話されます。もちろんスタッフの中には身体拘束を解除したいと感じている方が多数いらっしゃいますが、安全管理が先立ち身体拘束は蔓延化しているのも事実です。

認知症の人は病棟だけでなく、外来や検査室、受付等にもいらっしゃいます。加算をとっていくことで認知症について考え触れる機会が増え、身体拘束の蔓延化防止や病院全体の認知症ケアへの対応力向上に関する一助となれば幸いです。(10階病棟　牧野 美月)



編集：徳島市民病院 広報管理室　〒770-0812 徳島県徳島市北常三島町2丁目34番地　TEL: (088)622-5121（内線 2333）